



兵庫県立がんセンター薬剤部で、糖尿病に関する 薬剤師外来服薬指導が始まりました！

2021年4月より、毎週水曜日に糖尿病・代謝内分泌科が開設されました。それに伴い、担当医師から服薬指導の依頼があった外来の患者さんへ薬剤師が外来服薬指導をするようになりました。

●糖尿病薬剤師外来指導について

- ・外来の指導では、薬の種類、注射（インスリン製剤）の使い方、低血糖時、食欲不振時等の対処方法などをお伝えしています。
- ・入院後も継続的に薬剤師がフォローします。
- ・患者さんと一緒になってより良い治療が受けられるよう努めています。

●がん治療と糖尿病治療って関係あるのですか？

がん治療には手術療法、薬物療法、放射線療法などがあり、がん治療と同時に血糖コントロールを行うことが重要となります。

(1) 手術を行う場合

手術を行うときに血糖値が高すぎると、手術後の傷が治りにくく、感染を起こしやすくなることがあるため、手術前の外来の時から血糖値のコントロールを行います。

(2) 薬物療法を行う場合

がんの治療薬には、血糖値を高くする作用を持つものや、糖尿病の発症にかかわるものがあります。また、治療薬による吐き気、嘔吐などで食事量の低下や食事の偏りがでることがあり、低血糖や、食事内容によっては高血糖となることもあります。がんの薬物療法中は、血糖値のコントロールが不安定にならないように、薬の調整をする必要があります。

(3) 放射線治療を行う場合

だるさや、食欲不振や、放射線の照射部位に皮膚炎、口内炎などがおこる場合があります。食事がとれないようなときは、低血糖になる可能性があります。また、高血糖状態で皮膚のトラブルがあると感染がおきる可能性もあるので、血糖値のコントロールを行います。



※お願い

使用中の薬に対する不安、不明な点がある場合であっても自己判断で中止せず、まずは主治医、看護師、薬剤師にご相談ください。